

**令和7年度 アンケート結果及び自己評価結果**  
**(ドットジュニア 蘇我第2教室 (児童発達支援・放課後等デイサービス))**

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、定期的に自己評価を実施しています。  
 自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見ご要望をもとに、業務サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R7/11/17～R7/12/5>	事業所の取り組み状況、改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R7/11/17～R7/11/25>
環境 体制 整備 備	訓練室等の適切なスペースの確保	「教室内は清潔で、安全に配慮された環境が整っていると感じますか。」といった質問に対し、多くの肯定的な評価をいただきました。  <b>【記述回答】</b> 室内の壁等が貼り替えられ、以前より清潔感が感じられるようになった。 男性職員を増やして欲しい。 クールダウン場所、落ち着ける空間があればいいかなと思います。トイレは2つが理想。	室内の清潔感が保たれるように日々の清掃や消毒を行っています。また、児童のプログラムで制作したものを壁に貼って明るい雰囲気にするといった取り組みを行っています。 現状3名の男性職員がおりますので、休みをずらすなどしてなるべく2名以上の男性職員が支援できるような体制を作ってまいります。 新しく黒いパーテーションを購入し、教室の一角を覆うことでクールダウン場所にするといった取り組みを行っています。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
	障害特性への配慮		
業務 改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル	HUGシステムやLINE等情報ツールの活用や日々の保護者様とのコミュニケーションについては肯定的な評価をいただきました。	今後も継続してHUGを利用した保護者様への対応を行っています。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切 な 支 援 の 提 供	適切なアセスメントの実施	<b>【記述回答】</b> マンネリ化もあるけど、流れがわかって活動しやすいのかなとも思う。	環境変化に弱い児童が多いという点、ルールを理解することが難しい児童が多い点を考慮したプログラムの作成を行っています。今後はそのような状況の中でもなるべくプログラム内容のバリエーションを増やせるようにしていこうと考えております。調理のプログラムなら新しく調理器具を購入して作れる料理のバリエーションを増やす、お買い物に行くプログラムならお店を変えてみるといった対応を行い、児童が少しでも様々な経験を積んでいけるようなプログラムの作成を行っています。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		
関 係 機 関 関 連 者 と の 連 携	サービス担当者会議の実施	「相談や質問に対して、誠実に対応してもらっていると感じますか。」「保護者の意見や希望を受け止めてくれる姿勢があると感じますか。」といった質問に対して回答いただいたすべての保護者様に「はい」を選んでいただきました。	今後も継続して保護者様への細やかな対応を行っています。また、綿密な情報の共有に努めます。
	学校や保育園等との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレントトレーニング等の支援		

保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	「支援の内容や方針について、わかりやすく説明を受けていますか。」という質問に対し、多くの保護者様に「はい」と回答をいただきました。	引き続き支援の内容や方針についてのわかりやすい説明を行ってまいります。
	苦情トラブル対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の提供		
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	【記述回答】 どの程度の災害まで自宅まで送迎してくれるのか、待ってればよいのか。	災害時に避難所に避難をするほどの災害の際には、安全上の観点から基本的に保護者の方に避難所まで来ていただき、送迎をお願いする対応となります。避難所に避難が必要ない災害の場合には、基本的に通常通り職員が送迎を行いますが、ご希望の保護者様にはお迎えに来ていただく対応となります。その時の状況次第で判断も変わる場合もありますので、保護者様と連絡を取りながら現場で判断する形となります。
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	BCPと安全計画の策定と研修等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		

満足度	子どもが安心感を持って通所しているか	<p>【記述回答】</p> <p>不安やお悩み</p> <p>送迎に関して心配はあります。アシストするスタッフが同乗していれば安心なのですが、子どものタイプによってサポートしていただければ、ドライバーも集中して運転出来るのではないかと。キズの車体は不安になります。</p>	<p>送迎の際に添乗が必要な児童を定め、その児童がいる際には必ず添乗職員を配置することでドライバーが運転に集中することができる環境を作ってまいります。</p> <p>傷が目立つ車体に関しましては、以前こすってしまった際の傷がそのままになっており、保護者様を不安にさせてしまいました。申し訳ございません。職員間で送迎時の危険な道路などの情報を共有することで事故を防ぐ取り組みを行ってまいります。また、傷はそのままにせず塗装剤を購入して塗装することで傷を目立たなくする取り組みを行ってまいります。</p> <p>音楽や動画を流すプログラム、室内運動で体幹を鍛えるプログラムを引き続き行ってまいります。また、先日電車やモノレールに乗って千葉市動物公園に行くプログラムを行いました。車でのお出かけだけでなく、今後は電車でのお出かけのプログラムも定期的に行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。</p>
	子どもが通所を楽しみにしているか	<p>良かったこと</p> <p>色々なプログラムがあること、生活リズムがつくこと。</p>	
	現状抱える不安や悩み	<p>子供が通える日を楽しみにしてる。子供と物理的に離れて母の時間がちょっとできた。</p> <p>長く働いてくれる先生がいて子供をわかってくれる。</p>	
	通所を開始して良かったこと	<p>今後期待したいこと</p> <p>音楽鑑賞会</p> <p>体幹トレ、猫背、スマホっ首対策</p> <p>公共の乗り物に乗ってお出かけができるという。今後に向けて慣れさせたい！</p> <p>スタッフの安定、安らぐ場所。柔軟に対応してくださり助かっています。</p>	
	今後期待したいこと	<p>スポット利用や時間帯の調整等、柔軟に対応いただき感謝いたします。いつも安心して子どもを預けることができています。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。</p>	